

記者の声



車谷郁実

トに関する学内アンケートを実施した。集計結果を見て感じたのは、ハラスメントの形態は多様だということだ。一昨年12月

【一面参照】筑波大はコンプライアンス・ハラスメント対策室を新設した。ハラスメント対策を強化する狙いで、24時間対応可能な学外相談窓口も設けられた。

ハラスメント

筑波大が学外相談窓口設置
多様な事案への対応が必要

「ハラスメント」の名を冠した組織ができ、相談窓口も広がったことで、筑波大の構成員が多いだろうと思っていた。しかし、教職員へのアンケートでは、パワーハラスメントやアカデミックハラスメントを受けたと感じられる経験をしたとの回答の方が多かった。多様な

サクルの学外の指導者からハラスメントを受けたと感じたという学生は「どこに相談していいかわからなかった。苦しかった」と本紙の取材に語った。同じ立場になったなら、同様の悩みを抱いたに違いない。

そんな時、大学の相談窓口が頼れる存在であってほしい。そのためには、「こんなことで相談してもよいのか」「自分の不利益につながるのか」という学生や教職員の不安を取り除くことが大切になる。

北中准教授は「これまで対応してきたハラスメントの事例や」と言われても、IPアドレスなどを発信者の個人情報に容易に特定できる時代になっている。不特定多数の人からなくさんの「いいね」をもらっても、発信者自身の投稿内容が不適切で法的責任が生じた場合、それは発信者自身が責任を負うことになる。

筑波時評

回転ずしチェーン「スシロー」で撮影された迷惑行為の動画が今年1月下旬に拡散され、SNS（ネット交流サービス）上で炎上した。それに先立って「くら寿司」「はま寿司」で撮影された迷惑行為の動画が拡散されていたこともあり、一連の騒動は「すしテロ」と呼ばれるようになった。それに伴い「すしベロ」などもじられて、批判の声も過熱している。

視覚的匿名性高いネット
行き過ぎた自己提示招く

横たわる写真がフェイスブックに投稿され、問題になった。その写真を見た一般の人からの指

叶少瑜

准教授 (メディア心理学)



図書館情報メディア系・准教授。東京工業大学大学院修了。博士(学術)。日本学術振興会特別研究員(DC2、PD)を経て2015年に筑波大助教、22年から現職。

ライン上では、視覚的匿名性が高い。その一方で、不特定多数の人が自身の投稿を閲覧・反応することに対して過少評価する傾向がある。そして、称賛欲求の高い人がなくさんの「いいね」をもらうために、行き過ぎた自己提示や過激な行動をとりやすくなる。これは多くの先行研究で報告されていることだ。

もちろん、時には法的責任のみならず、発信者自身の情報が暴露されたり、炎上によってひどく批判されたりすることも少なくない。法律がテクノロジーに追いついていないこともあり、現在のSNS使用に対応したものとなっていないのは、一つの問題ではある。

だが、本質的には、他人に対する社会的寛容性が低下していることによる。人間は誰かが、批判されるよりも称賛されたいがため、都合の悪いことや耳が痛いことを遮断する傾向がある。対面ではかなり難しいが、ツイッターなどのSNS上ではブロックやミュート機能を使い、より容易に遮断できるようになっている。

反射鏡

マスク着用どうする

政府は新型コロナウイルス感染症対策のマスク着用ルールを見直した。これまでは、屋内でのマスク着用を推奨してきたが、今年3月13日からは個人の判断に委ねられた。ただし、医療機関の受診や高齢者施設への訪問、混雑した電車やバスを利用する際などは引き続きマスクの着用を奨励している。筑波大生はマスクの着脱についてどう考えているのか。中央図書館前などで聞いた。(衣笠有紀、高元愛香Ⅱ心理学類3年、加藤緑Ⅱ生物学類2年)

地元の給食の思い出は

日本全国から学生が集まる筑波大。春休みに実家に帰る、懐かしい郷土料理に舌鼓を打ったという学生も多いのではない。筑波大生は出身地ならではの給食に、どんな思い出があるのだろうか。中央図書館前などで聞いた。(久玉佳純Ⅱ比較文化学類3年、川上真生Ⅱ社会学類2年、衣笠有紀、高元愛香Ⅱ心理学類3年)

【心理3年・男性Ⅱ埼玉県】 出ていなかった。ただ、埼玉県熊谷市のシラコバで生産された野菜が優先的に使われていた。生産者が学校を訪れて、栄養素などについて解説してくれるといったのが印象に残っている。小学生の時に市役所へ行き、「コバトン」が埼玉独自の存在だと知るまで、全国共通のデザインだと思っていた。埼玉県が全ヒール牛乳のような味になる。ただあまりおいしくなくて不評だった。

【社会学類4年・女性Ⅱ東京都】 白花豆を使ったコロッケが出ていた。白花豆は、日本では札幌農学校(現北海道大学)で栽培された。白花豆は、日

しては、せきやくしゃみなどをしなければ外に出ても気にならない。ただ、混雑時などにはなるべく着用してほしい。

【教育2年・男性】

マスクをすることが元々好きではない。肌が弱いこともあり、マスクでかぶれが引き起こされるからだ。最近では花粉が飛んでいるので、当面の間はマスクをつけるが、早く外したいと思っている。

【資源3年・男性】

人と近付いて話す時や混雑した場所に行く時などマスクが高い場面以外は、屋内外ともに外すつもりだ。ただ、大学入学後マスクを着けていない顔を人に見せる機会が少なかったため、道大)で明治時代に初めて栽培されたものだ。それと、大豆の大きさを白花豆を煮た後に漬けてコロッケにする。年に数回出ている。デザートのような甘みがあったが、おかずとして出たので少し苦しかった。

【知識4年・女性Ⅱ福島県】

福島県の郷土料理「いかにんじん」が出ていた。スルメイカとニンジン細切りにし、しょうゆとザラメまたはみりんのたれに漬けた副菜だ。東北6県の食材を利用した給食もあり、地元の食材に触れる機会になった。好き嫌いがありながらも、何でもおいしく食べていた。

【心理3年・女性Ⅱ岡山県】

思い出に残っている給食のメニューはきびだんごだ。地元・吉備国(岡山県)の伝説のヒーロー、桃太郎がプリントされた包みに直径2センチほどの小さなお団子が入っていた。水あめ

【文P1年・女性】

マスクを外したい。出身地の中国では、マスクを着ける習慣がなかった。日本の安心が最優先で、無理強いられて花粉症になった

【文P1年・女性】

マスクを外したい。出身地の中国では、マスクを着ける習慣がなかった。日本の安心が最優先で、無理強いられて花粉症になった

【文P1年・女性】

マスクを外したい。出身地の中国では、マスクを着ける習慣がなかった。日本の安心が最優先で、無理強いられて花粉症になった

同窓生投稿募集

開学50周年を記念して「筑波大の思い出」というテーマで投稿を募集します。「今だからこそうえる」「〇〇が忘れられない」。そんなエピソードをお待ちしています。

【募集期間】2023年8月末まで

【連絡先】shinbun@un.tsukuba.ac.jp

【本文】150~200字程度

卒業・修了年次や当時の所属・性別(男性・女性・その他)・連絡先を別途ご記入の上、お寄せください。



大学生生活の集大成そろろう 力作 213 点 来場者魅了

卒業・修了制作展

筑波大の「令和4年度芸術専門学群卒業制作展／大学院人間総合科学芸術学術院人間総合科学芸術学術学学位プログラム（博士前期課程）修了制作展」が2月7日、3月5日（つくば美術館）で開かれた。学群生と大学院生が在学中に取り組んだ制作や研究の成果を披露する場で、卒業生99人、修了生42人の作品や論文計213点が4期に分けて展示された。期間中、延べ約5500人が訪れた。

（高元愛香、衣笠有紀、16面に関連写真）

2月7～12日の卒業制作「芸術支援の論文、洋画や日展前期日程では、美術史や本画、彫塑、書、版画の作」寺田開さん（令和4年



寺田さんの筑波大学芸術賞受賞作品「Viewpoints」（2月12日、つくば美術館で）＝高元愛香撮影

度芸術専門学群卒）は「Viewpoints」と題した3枚の版画（各縦91×横72・3枚）を出展し、最優秀賞となる筑波大学芸術賞に選ばれた。

作品は樹脂板を用いて刷った。版を線状にひっきり、塗料を使ってカラーシュリなどとして、多様なテクニカを表現した。

寺田さんは「自分自身の消化しきれない経験を人の形にして描いた。制作は悩みや心の傷と向き合うきっかけになった」と話した。

山形彩月さん（同）は「生彩」と題した日本画で、芸術賞に次ぐ若菜賞に選ばれた。左右に伸びた枝が垂れるほど多くの赤い実が成るリンゴの木を描いた作品で、縦162×横324の大作だ。

和紙に水干絵の具と岩絵の具を用いて制作した。粒子が細かい水干絵の具で下絵を描き、その上に粒子が大きく厚みのある岩絵の具を塗り重ねて、作品を立体的に仕上げた。

筑波大学吹奏楽団の「クラリネットアンサンブルコンサート2023」が2月24日、つくばカピオ（つくば市竹園）で開かれ、総勢30人が出演した。約100人の聴衆が、クラリネットならではの柔らかな音色に酔いしれた。

コンサートは3部構成。第1・2部は小人数編成の演奏、第3部はクラリネット奏者全員で演奏した。第1部の最後はクラリネット五重奏「祈りと囀動」

（阿部勇一作曲）。静かな「祈り」と、スリリングで細かなリズムを刻む「囀動」の対照的な2パート構成の曲だ。1月の「第28回関東東アンサンブルコンテスト」でこの曲を演奏し銀賞に輝いた団員5人が、一音一音を丁寧に響かせた。

第2部の「フアイドマン風演奏会用小品（コハー・イン・シュトゥアール作曲）では2本のクラリネットとピアノが共演した。全員がOBで、クラリネットの軽

快な掛け合いから始まり、中盤から終盤はピアノ伴奏に合わせた素早い連符の演奏で会場を盛り上げた。観客アンケートでも最も人気を集めた熱演となった。

第3部は現役団員とOB・OG合わせ30人の大編成で、ロシア、英国、アルメニアの曲が演奏された。観客（図）を使って自分のデータを取る実習の時、矢羽根の角度をランダムに変え、どちらの線が長く見えるか、自分の判断を記録すると、物理実験のようにきれいなグラフになる。こんな色に会場は包まれた。

昨年度、修士課程を修了した指揮者の松下虎太郎さんは「コロナ対策を徹底し、これをどう「説明」するの？という気持ちにGや医学類生を含むメンバーがそろった。練習スケジュールを合わせるのが難しく、曲のイメージ共有に苦労したが、大人数で幅広い年齢のメンバーで演奏できて良かった」と語った。

「筑打！」代表の宮田桃佳さん（障害4年）は「メンバーのバックグラウンドが違えば、楽器のたたき方やリズムの取り方も異なる。その分、楽曲の幅が広がる。打楽器だけの演奏会だが、多彩な音を表現できたのではないかと話した。」（高元愛香、写真も）

筑打！3年ぶり

打楽器のみで多彩な音楽を披露

打楽器アンサンブル団体「筑打！」のコンサートが2月19日（つくばカピオ）は市竹園で3年ぶりに開かれた。40種類を超える多彩な打楽器が奏でる演奏



本番で、それぞれの打楽器を打ち鳴らす奏者たち（2月19日、つくばカピオで）

は「ビブラフォンはモーターの力でビブラートを自在にかけられる。その特徴を生かした、余韻のある演奏ができた」と話した。

コロナ禍で3年間、コンサートを開くことができなかったが、今回は軽音サークルや音楽関係の団体には無所属の学生らも参加しての演奏となった。

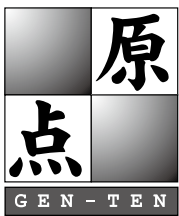
「筑打！」代表の宮田桃佳さん（障害4年）は「メンバーのバックグラウンドが違えば、楽器のたたき方やリズムの取り方も異なる。その分、楽曲の幅が広がる。打楽器だけの演奏会だが、多彩な音を表現できたのではないかと話した。」（高元愛香、写真も）

◆おわりに
「芸術の森」は休みます。

原田悦子 教授（認知心理学）
人間系・教授。筑波大学院心理学研究科修了。博士（教育学）。法政大教授などを経て、2010年より現職。

れがもう一ひねり変化したのは、大学院を終わる時にいただいた就職の機会だ。その頃の多くの就職先は「地方の小さな大学」だった。しかし、そういうお話もなかなかないよ

【ミューラー・リヤーの錯覚】
矢羽根の間の線の長さと同じだが、bのほうが長く見える



まろつとしていた認知科学の研究会「MHM」に顔を出すようになった。モリ・ホリ・モロという3人の大学院生が主催する研究会（彼らはMHMを「Misunderstanding of Human Memory」の略だそうぶいていた）で、長期休みに2日間、英語の本1冊を読み上げる。参加者は1章を著者になりきって説明する、という研究会だった。少しでも曖昧なことを

言つと矢のように質問が飛び交う会であったが、人の頭の中で生じる過程をコンピューター上の情報処理になぞらえて考える新しい視点、それを肩を並べて議論する「大学」という場はまさに研究の場であり、研究は楽しいことを刻み込む経験であった。

気づけば大学院に進学、実験室に人を呼んで、はスライドを見せて記憶を測る生活となった。その使いやすさ「研究を、車の両輪として進める研究スタイルに向けて、カチッとスイッチが入ったと思う。つまり、行動を観る・測る面白さと、「なんで？」という謎解きへの興味、そしてちょっと身近なものに

なっている。筑波山は梅の名所である。斜面に広がる梅林から見下ろすつくばの景色も良いものだ。筑波山に見守られながら、筑波大の生活を楽しくしてほしい。「入学」や「新人生」も春の季節となっている。

（島崎寛永II人文学類4年）



「白梅」
・入学や自分らしさがわからない
・前進の怖さ燕の強かさ
・白梅の一輪づつに言（ことば）を

2月23日、つくば市沼田で

撮影

筑波大学新聞
新人記者募集！

筑波大学新聞では学生の活躍や先端研究、
学内外のニュースなどを学生が報じます。

取材



執筆



【新歓】

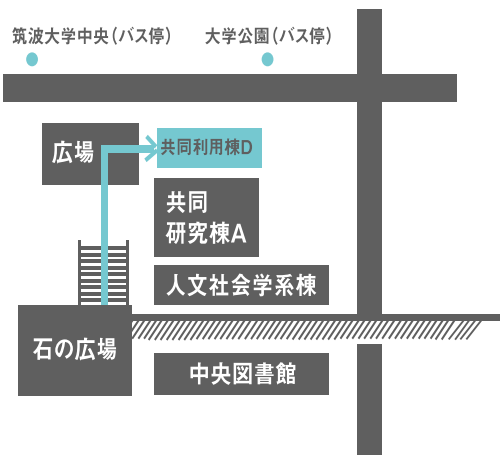
先輩とのお話し会、カメラ講習会...

※新歓祭本祭（4月8日）第1部でも

【編集会議】 SNSやメールで見学受付中！

場所：共同利用棟D104の編集室

時間：毎週月曜午後6時半から



TEL：029-853-6699

MAIL：shinbun@un.tsukuba.ac.jp

Twitter @ut_shimbun

Instagram university_of_tsukuba_shimbun



Twitter



Instagram



過去紙

2年生に突撃インタビュー
筑波大学新聞って
何してるの？

「記者に興味がある。でも、具体的に何をするのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう！というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

（聞き手・高元愛香）
■メンバー紹介
加藤緑記者（生物2年）
埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者（社会学2年）
高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者（人文2年）
約6000人のフォロワー（3月30日現在）を抱える本紙のSNS（ネット交流サービス）運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼務している。芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をするのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう！というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

（聞き手・高元愛香）
■メンバー紹介
加藤緑記者（生物2年）
埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者（社会学2年）
高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者（人文2年）
約6000人のフォロワー（3月30日現在）を抱える本紙のSNS（ネット交流サービス）運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼務している。芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をするのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう！というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

（聞き手・高元愛香）
■メンバー紹介
加藤緑記者（生物2年）
埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者（社会学2年）
高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者（人文2年）
約6000人のフォロワー（3月30日現在）を抱える本紙のSNS（ネット交流サービス）運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼務している。芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をするのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう！というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

（聞き手・高元愛香）
■メンバー紹介
加藤緑記者（生物2年）
埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者（社会学2年）
高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者（人文2年）
約6000人のフォロワー（3月30日現在）を抱える本紙のSNS（ネット交流サービス）運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼務している。芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をするのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう！というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

まで、指導を直接受けることができます。情報を提示する順番など、読み手を意識した書き方を知り、文章力向上を実感しました。

中谷 3年生の多くが2年生時に入ったこともあり、2年生との上下の垣根がありません。部員仲がよいのも魅力です。

「どんな人が記者に向いていると思いますか？」
全員 ニュースに対する関心や、多くの人に伝えたいという気持ちさえあれば、誰でもできます。不安な点は先輩がサポートするので大丈夫です。

最後に、新入生に向けて一言お願いします！
加藤 取材・執筆・撮影・編集とさまざまなことができる大学新聞で、ぜひ新しいことに挑戦してください。

川上 あなたも筑波大の構成員を笑顔にできる記事を書きませんか。一緒に取材できるのを待っています。

中谷 昨年は取材で、筑波大のアイドルコンビダンスサークルが全国優勝する瞬間に立ち会えました。創設メンバーから話を聞き、アイドル好きの私にとって思い入れのある取材になりました。あなたにもきっと、大学新聞でしかできない経験があるはずです。

加藤 部員が自由に使用できる編集室には大きなソファが何台もあるので、くつろげるものを残したいとは思いません。今年は筑波大開学50周年。たくさんの方々の思いを取材し、100周年時にも残る歴史的紙面を一緒に作りましょう。

川上 毎日新聞の論説委員だった編集代表の鴨志田公男先生に、撮影から執筆

農業から宇宙まで研究機関の常設展示を紹介
科学の街・つくばを巡る

各施設へのアクセス情報

	開館時間	休館日	アクセス (つくばセンターから)	予約
地図と測量の科学館	午前9時半 午後4時	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/3)	関東鉄道/バス(関鉄/バ ス)「建築研究所」行 「国土地理院」下車 など	不要
筑波実験植物園	午前9時 午後4時半 (入園は 午後4時まで)	月曜日(祝日・休日の場合 は開園)、祝日・休日の翌日 (土日の場合は開園)、 年末年始(12/28~1/4)	関鉄/バス筑波大学循環 「天久保2丁目」下車、 徒歩8分 など	不要
サイエンス・スクエア つくば	午前9時半 午後5時	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/4)、 その他臨時休館日	関鉄/バス「荒川沖駅 (西口)」または「阿 見中央公民館」行 「並木2丁目」下車、 徒歩5分	不要
地質標本館	午前9時半 午後4時半	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/4)		不要
筑波宇宙センター	午前10時 午後5時	不定期、 年末年始(12/29~1/3)	関鉄/バス「荒川沖駅 (西口)」行「物質材 料研究機構」下車、 徒歩1分	不要
筑波大学ギャラリー	午前9時 午後5時	土日・祝日、 年末年始(12/28~1/4)	関鉄/バス筑波大学循環 「大学会館前」下車	事前予約制 (電話 029-853-7959、 メール somu-daigaku kaikan@untsuba.ac.jp)
食と農の科学館	午前9時 午後4時	土日・祝日、 年末年始(12/28~1/4)、 その他臨時休館日	つくバス南部シャトル 「荖崎老人福祉セン ター」行「農林団地中 央」下車、徒歩5分	団体は要予約
KEK コミュニケーション プラザ	午前9時半 午後4時半	年末年始、夏季休業期間	つくバス北部シャトル 「筑波山口」行「高エ ネルギー加速器研究機 構」下車、徒歩2分	不要

※筑波実験植物園のみ有料、筑波大生は学生証の提示により無料
(一般・大学生320円、高校生以下無料。団体20人以上は別料金)

(取材を基に作成)

ツアーバスで
お得に見学



サイエンスツアーバス(2月26日、筑波実験植物園で) = 川上真生撮影

ツアーバスで
お得に見学

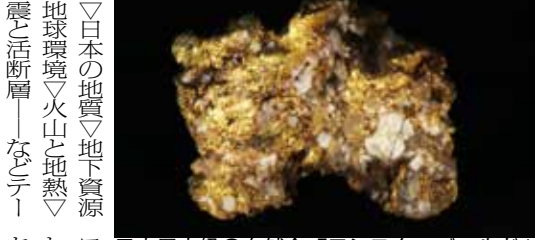
サイエンスツアーバス(2月26日、筑波実験植物園で) = 川上真生撮影

筑波大を中核に国関係だけでも約30の研究・教育機関が立地するつくば市。その多くが、見学可能な展示施設を備えている。コロナ下で事前予約が必要な場合が多かったが、ここに来て不要となる施設も増えている。せっかくの春。「科学の街」を歩き、最先端の研究成果や科学技術のこれまでの歩みに触れてみてはいかがだろうか。(川上真生) 社会科学類、衣笠有紀、高元愛香、心理学類、加藤緑、生物学類

日本列島とその周辺を立体表現した。その上に立つと地球の丸さや、日本の排他的経済水域の広さが体感できる。

役割は「産業技術のショールーム」として、産総研の歴史や研究成果を分かりやすく紹介することだ。

産総研の地質標本館だ。総研の地質標本館だ。産総研の地質標本館だ。



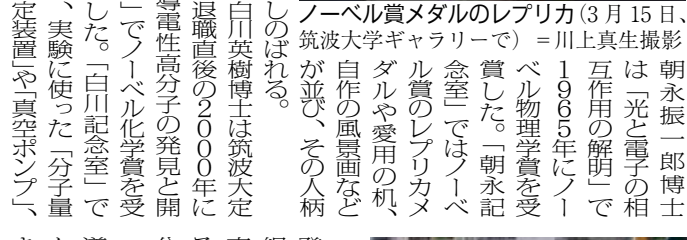
日本最大級の自然金「モンスターゴールド」(2月26日、地質標本館で) = 川上真生撮影

「スペースドーム」に向かう。入り口にあるのが地球を100万分の1サイズで模した「ドリームポート」。

サイエンスツアーバス(2月26日、筑波実験植物園で) = 川上真生撮影

サイエンスツアーバスの対象施設以外にも、見学可能な施設は多数ある。その中からお勧めの場所をいくつか紹介したい。

筑波大学ギャラリー



ノーベル賞メダルのレプリカ(3月15日、筑波大学ギャラリーで) = 川上真生撮影

食と農の科学館

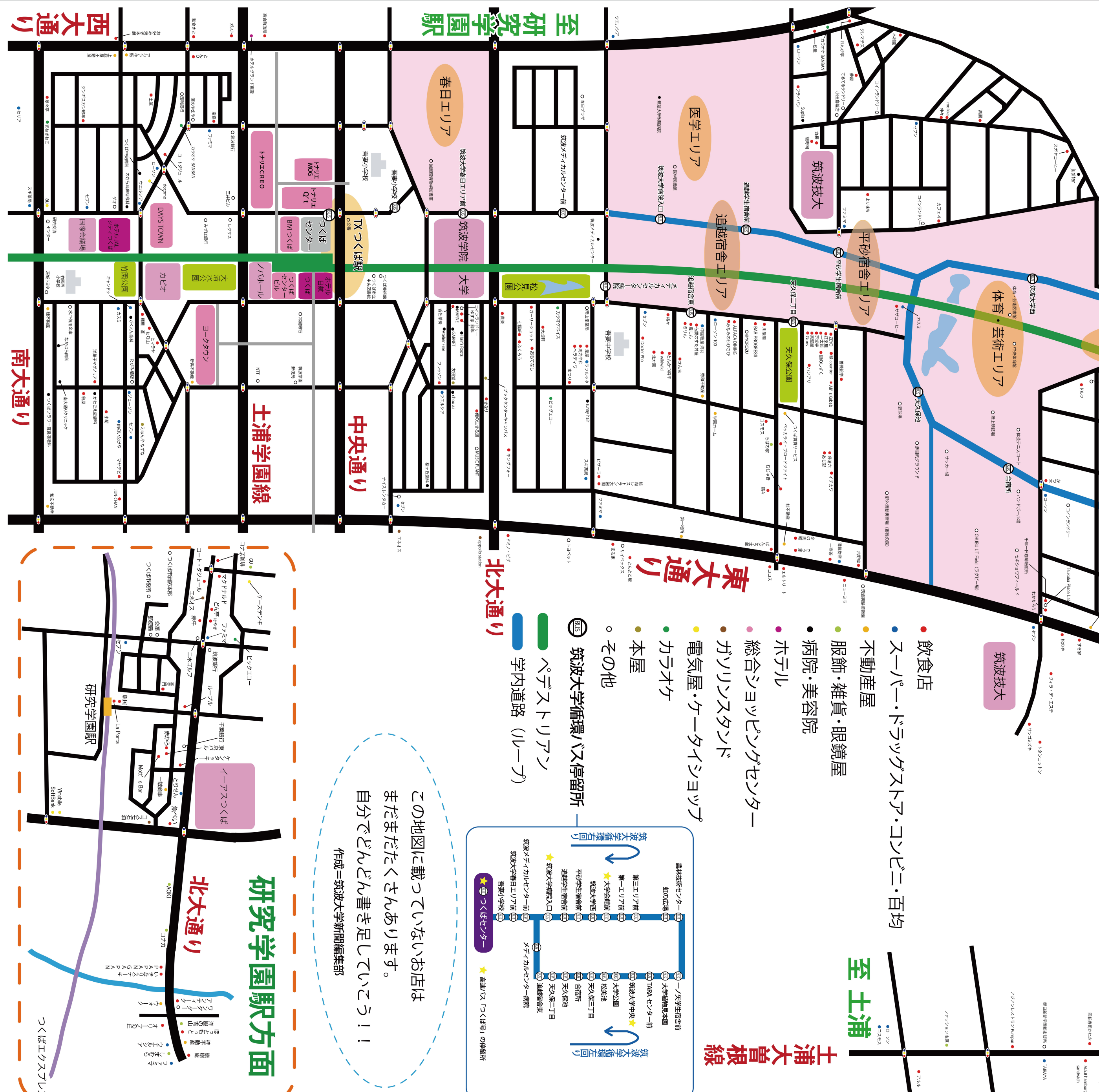
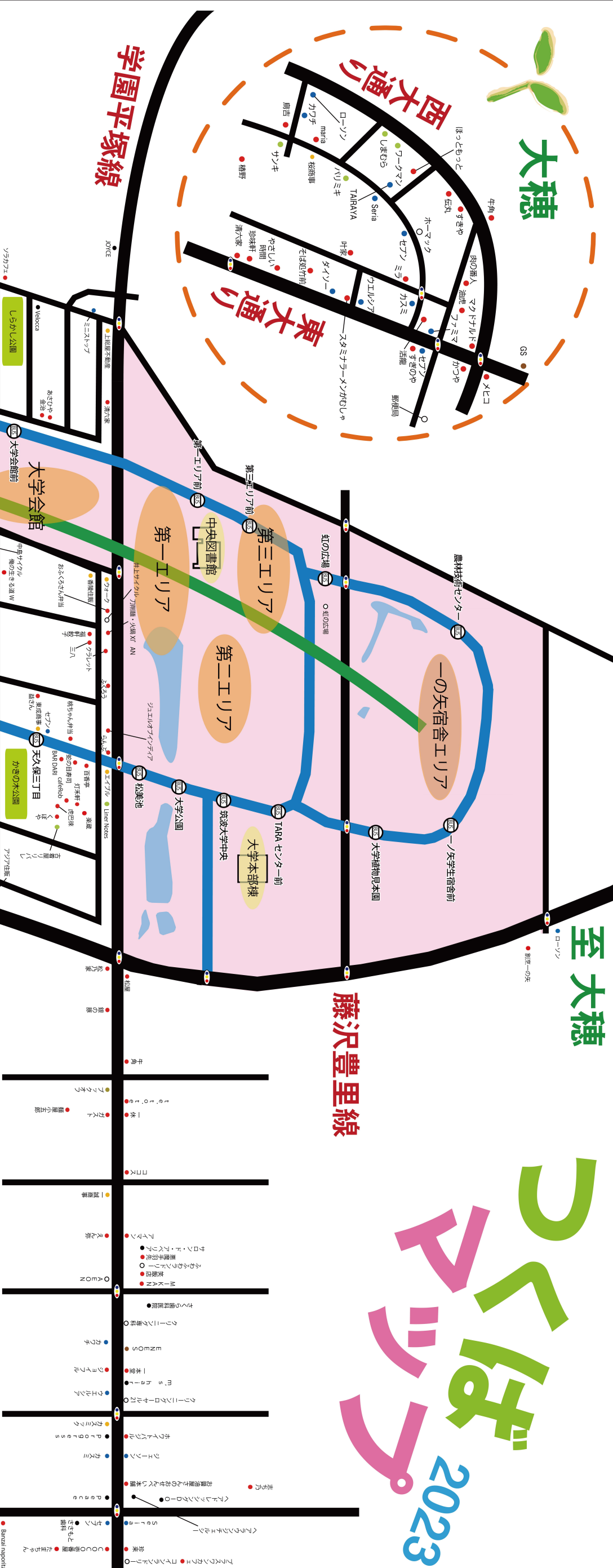
KEK



食と農の科学館

高温に強い稲など紹介

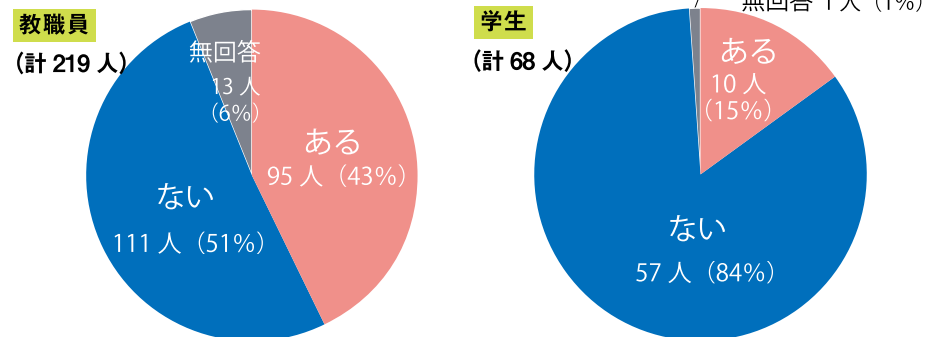
食と農の科学館



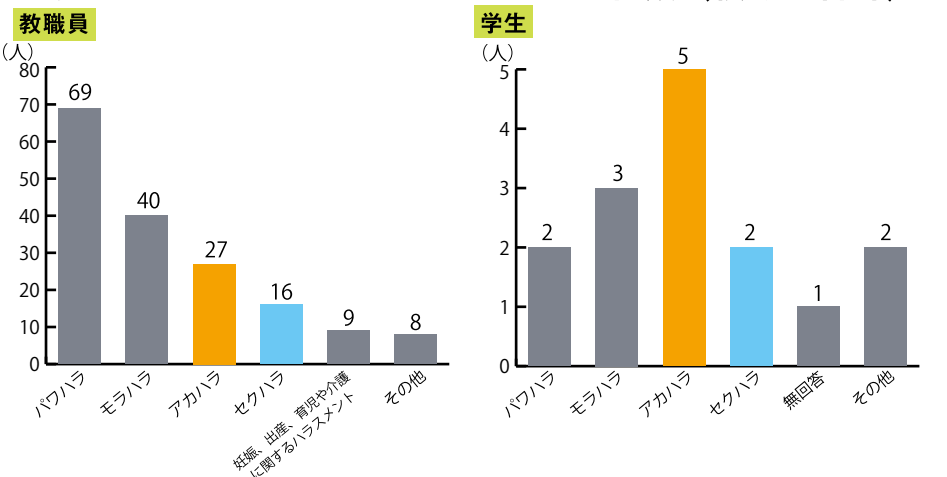
「ハラスメント」なくすために

本紙学内アンケート 学生や教職員に聞く

筑波大に入学した後（働き始めた後）、何らかのハラスメントと
感じられる対応を受けたことがあるか



受けたと感じられたハラスメントの種類（複数回答可）



教職員へのアンケート結果詳細

セクハラ

回答者 219 人のうち、16 人がセクハラと
感じられる対応を受けたことがある

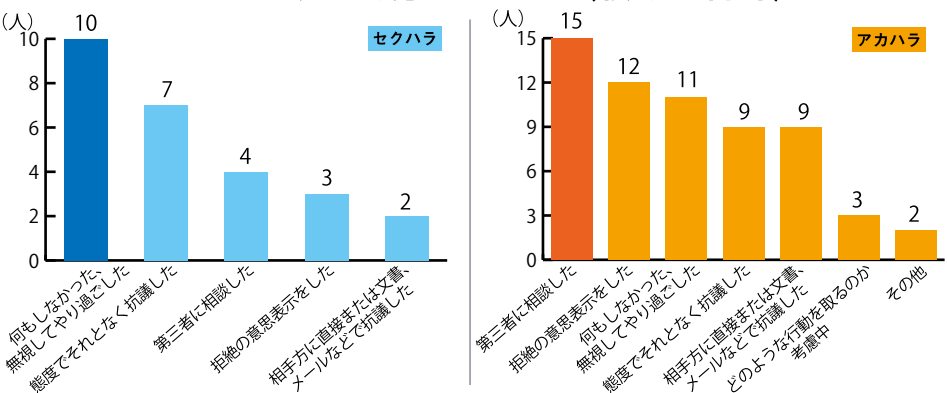
内容（複数回答可）	
性的な冗談やからかい	14 人
不必要な身体への接触	6 人
性的な言動に対して拒否・抵抗 した事による不利益な扱い	2 人

アカハラ

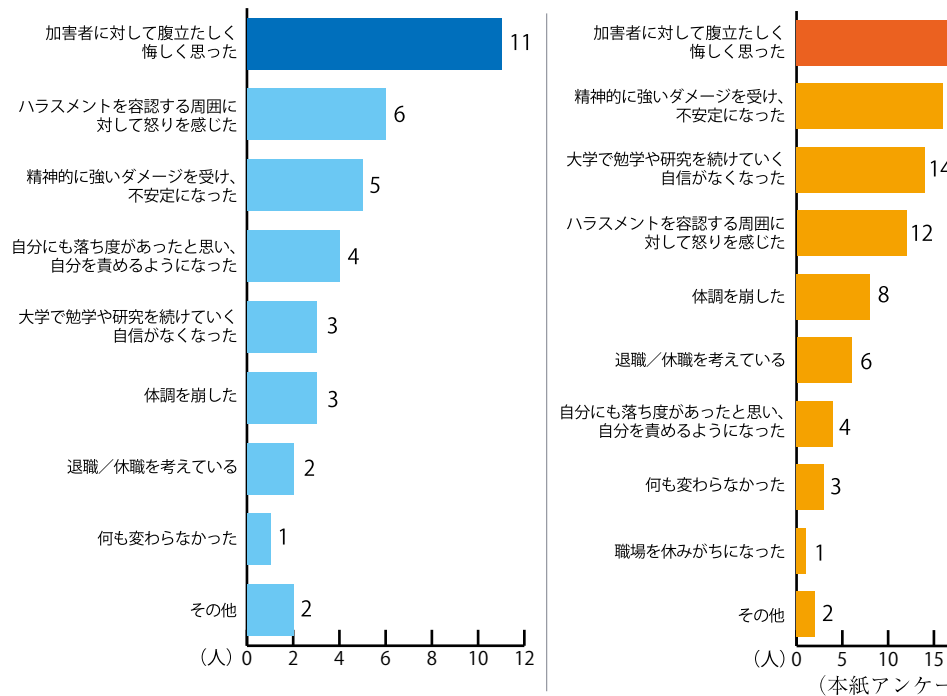
回答者 219 人のうち、27 人がアカハラと
感じられる対応を受けたことがある

内容（複数回答可）	
暴言や侮辱などの誹謗中傷	21 人
陰口や馬鹿にしたような視線を送る	17 人
勉強や研究の妨害	16 人
無視などの仲間外し	9 人
プライベートへの介入	2 人
その他	1 人

どのような対応をしたか（複数回答可）



生活や考えにどのような影響があったか（複数回答可）



教職員の回答者 4 割が「経験あり」

本紙アンケート結果

アンケートは今年3月9
～16日に実施。教職員計
219人、学生68人から回
答を得た。

筑波大に入学・赴任して
から「何らかのハラスメン
トと感知された対応を受け
たことがある」と回答した
教職員は95人（43%）、学
生は10人（15%）だった。
受けたと感じられたハラ
スメントは今年3月9
～16日に実施。教職員計
219人、学生68人から回
答を得た。

筑波大に入学・赴任して
から「何らかのハラスメン
トと感知された対応を受け
たことがある」と回答した
教職員は95人（43%）、学
生は10人（15%）だった。
受けたと感じられたハラ
スメントは今年3月9
～16日に実施。教職員計
219人、学生68人から回
答を得た。

「上司や先輩から」多く

「信頼できる相談相手の存在が救いに」

「信頼できる相談相手の存在が救いに」

【1面参照】嫌がらせやいじめを意味する「ハラスメント」。その対象は幅広く、
誰もがその当事者になる可能性がある。ハラスメントをなくしていくことが、筑波
大の構成員の能力発揮と成長につながる。本紙は今年3月、筑波大の教職員と学生
にハラスメントに関するアンケートを行った。構成員のハラスメント体験やハラ
スメントに対する考えを共有することは、その一助になると考えてのことだ。その結
果を詳報し、回答者の声や筑波大の対応、他大学の取り組みを紹介する。
(及川翔二 人文学類、川上真生 専攻部実社会学類、加藤緑二 生物学類)

で「筑波大の教員（上司、
先輩）」10人、「筑波大の職
員（上司、先輩）」6人と
続いた。内容は「性的な冗
談やからかい」が最も多く、
自由記述では「飲み会の談
笑中に臀部を触れられた」
「卑猥な印刷物を見せられ
た」などの回答があった。
こうした経験に対し、11
人が「加害者に対して腹立
たしく悔しく思った」と答
えたが、その一方で「その
の経験に対し」何もしな
かった、無視してやり過
した」と10人が回答した。
同じく教職員で、アカハ
ラと感じられる対応を受け
た相手はセクハラ同様に上
司や先輩からが多く、「筑
波大の教員（上司、先輩）」
25人、「筑波大の職員（上司、
先輩）」4人だった。

の相談員が置かれている。
す。組織対応——など、
それぞれの相談内容に適切
だと考えられ得る対応策を
とり、問題解決を目指す。
4月に新設された学外窓
口での相談も可能だが、筑
波大に在籍中の学生と教職
員に限られる。相談者が希
望した場合や緊急の対応が
必要な場合は、相談内容が
対策室に共有され、その後
は学内窓口への相談と同じ
流れで対応が進む。

筑波大の ハラスメント対応

「信頼できる相談相手の存在が救いに」

ダンス部 60 回記念公演

伝統「軸」に新しさと追求

【かめありリリオホール（東京都葛飾区）で衣笠有紀、富元愛香（心理学類 3 年）筑波大ダンス部 60 回記念公演「軸」が 3 月 18 日に行われた。現役部員による創作ダンスや OB・OG による同窓生特別作品など 3 部構成で計 13 作品が披露された。創部当初のメンバーを含む約 450 人が会場を訪れ、ダンスに真剣に向き合う同部伝統の姿勢「筑波フライド」を受け継ぐパフォーマンスを楽しんだ。

ダンス



同部は 1955 年、東京教育大ダンス部として誕生した。筑波大に生まれ変わった後も活動を継続し、今回は現役部員 23 人と OB・OG や大学院生など 25 人の計 48 人が出演した。公演タイトルの「軸」は現役部員で決めた。主将の三木麻衣さん（体専 4 年）は「しんぎには、心に一本のじくを立てるイメージがある。筑波フライドを引き継ぎ、高めていくという思いを込めた」と語った。第 1 部は現役部員が創作した 7 作品が披露された。出演者数は 22 人とさまざまで、壊れた机をこたつに作り直すまでを表したゴミカルな作品から、豪州の先住民の営みを表現した力強い作品まで、幅広い表現のじくを立てるイメージが、第 3 部では OB の宮條介さん（令和 3 年度体育学学位プログラム修了）が創作したダンス「かたち」を、自ら演じた。自分の人生を振り返るせりふを話しながら、即興で踊る作品だ。社会人になってもダンスを続ける不安などが生々しく表現されている。



「喧嘩の関係」のエンディングで手を重ねる 4 年生（3 月 18 日、東京都葛飾区）＝衣笠有紀撮影

宮さんは「筑波大のダンスは伝統的に華麗で、現在の自分の身体表現スタイルとは異なるが、原忠と言え、楽しんで自分を表現できた」と語った。続いて、現役部員と OB の計 29 人が「喧嘩の関係」を披露した。昨年 8 月の全

主人公とその仲間たち計 4 人が団結し、手を重ね合わせるラストシーンでは、会場から割れんばかりの拍手が鳴り響いた。主人公を演じた三木さんは「言いたいことが言い合える関係になりたいという思いで、4 年生部員 10 人全員で創作した。4 月の構想段階から今まで、意見を出し合い、作品と共に成長した 1 年だったと振り返る。東京教育大ダンス部 OG で第 1 回公演に出演した来賓の石黒節子・お茶の水女子大名誉教授は「当時は練習方法も自分たちで、から考えていたが、今は練習方法も確立し、技術が向上している。筑波らしい綺麗な踊りに加え、土着的な力強い踊りなど新しい試みも見られて良かった」と話した。

ラグビー部員を食で支える

「ルル」オーナーシェフ糸井さん

ラグビー

筑波大ラグビー部員の体作りに食で貢献するのが、昨年 10 月に開店した「デリカキッチンル」（つくば市天久保）のオーナーシェフ、糸井洋介さん（42）だ。栄養バランスの取れた朝食をラグビー部員に 1 食



早朝から準備をする糸井さん（2 月 7 日、デリカキッチンルで）

400 円で提供している。そのかきもあり、ラグビー部は今年 1 月、8 大会ぶりに大学選手権優勝に進出した。対戦相手の帝京大には大敗したが、糸井さんは「帝京大の選手は寮生活で、食事管理もきちんとしていると聞いた。自分ができることで筑波大ラグビー部を

応援していきたい」と語る。朝食は鶏肉の照り焼きや豚肉の野菜炒めなど肉を中心とした主菜 1 品と副菜 2 品、それにご飯とみそ汁がつく。チームをバックス陣とフォワード陣に分け、それぞれ週 2 日、計 4 日、店舗で提供している。1 日 30 食で、全て糸井さん 1 人で作っている。今年 2 月 7 日に朝食を食べに來ていたウイング（WTB）の濱島遼（体専 2 年）は「自分では簡単な料理しかしないが、ここではいろいろな食材を使った健康的な食事ができてうれしい。おなかの調子も良くなる」と、主菜のタンダーリーチキ

ンを頼りながら教えてくれた。糸井さんは元々、つくば市内の飲食店に勤務し、体芸エリアで弁当販売をしていた。4 年前、仲良くなったラグビー部員から「朝食の提供を始めてほしい」と声を掛けられたが、コロナ禍などで実現しなかった。だが、昨年 2 月に嶋崎達也監督（体育系・助教）が改めて依頼があった。ラグビー部は 2 大会ぶりに大学選手権出場を逃し、体作りや練習内容を見直していた。その一つが選手の食生活の改善だった。糸井さんは、独立したいと考えていたこともあり、申し出を受けた。筑波大の運動部の学生が練習後、外食チェーンに集団で入る場面をしばしば見かけ、栄養バランスの取れた食事を摂れるようにできないかと考えていたことも、決断を後押しした。正式開店前の昨年 7 月から店舗で朝食の提供を始めたが、新型コロナウイルスの感染拡大が第 7 波を迎えた 8 月下旬、12 月には、弁当にして配った。実は、糸井さんが提供した朝食のメニューが同じだったことは一度もない。「食事を楽しんでほしい」との思いから、同じ食材でも味付けや組み合わせを変えたりしている。糸井さんは 1 月の準決勝を国立競技場で観戦し、帝京大の圧倒的な強さに驚いたという。「来年は絶対、帝京大を負かしてほしい。今後は、ラグビー部以外の筑波大のアスリートたちの食生活も支えたい」と話した。（重谷郁実、写真も）

アジア室内選手権で奮闘

男子 800m 薄田 6 位、女子走幅跳 高良 7 位



写真：新華社／アフロ

海外選手との男子 800m 決勝を 6 位で終えた薄田

アジア室内選手権が 2 月 10、12 日にカザフスタンのアстанаで開かれた。筑波大からは男子 800m 薄田健太郎（令和 4 年度体育学学位プログラム修了）、女子走幅跳 高良彩花（同体育専門学群卒）が日本代表として出場した。薄田は 6 位、高良は 7 位だった。2 人は今春から社会人として競技を続けており、筑波大所属としては最後の試合となった。（川上真生）

陸上



アジア室内選手権は 2004 年に始まり、2 年に 1 度、アジアの各都市で開催されてきた。しかし、20 年に中国・杭州で開催予定だった第 9 回大会はコロナ禍で中止となり、今大会も開催が 1 年延期されていた。薄田は 10 日の予選 1 組で 1 分 51 秒 35 を記録し、3 着となった。自動的に決勝に進出が決まる 2 着以内は逃したものの、タイム順で決勝進出を決めた。12 日の決勝では、同じく決勝に進出した金子魅玖人（中央大）と 2 人で先頭に立ってレースを進める」と事前に話していたという。金子は言葉通りのスタート直後に先頭に立ったが、6 レーンから出た薄田は

100m 地点のカーブでスピッドに乗れず、金子の後を追う形になった。その後も、2 周目のコース争いで外国人選手と激しく接触するなどペースをつかめず、1 分 52 秒 06 の 6 位でレースを終えた。金子は 5 位だった。薄田は「力負けしてしまっ。海外選手は位置取りや力の出し入れがうまく、その差を痛感した。今回の経験を世界陸上出場につなげたい」と話した。高良は 3 位以内を目標としていたが、自己ベストに 36cm 及ばない 6 位 14 で 7 位に終わった。高良にとっては大学 1 年時に出場したユニバーシアード以来の国際大会。だが、卒業論文の提出や新生活の準備と重なり、練習時間が満身に取れない中での

三浦 初の日本タイトル獲得

室内選手権女子 60m

陸上



日本室内選手権が 2 月 4、5 日に大阪城ホール（大阪府中央区）で開かれた。筑波大からは女子 60m に三浦由奈（体専 4 年）、男子 60m に辰巳新（令和 4 年度体育専門学群卒）が出場した。三浦は 7 秒 50 で初優勝

し、自身初の日本選手権チャンピオンに輝いた。三浦は昨年 5 月の関東学生競技対校選手権（関東インカレ）女子 100m で優勝し、同種目の筑波大記録を保持する実力者だ。シーズン幕開けとなった今大会では「スタートの 1 歩目を大きく踏み出す」こと

を見せて優勝した。高良は、「刺激をもらうの選手が助走路を横切るなど集中力が途切れる場面もあったという。女子走幅跳は、日本の泰澄美鈴（シバ工業）が大会新記録で室内日本記録となる 6 位 64 の大ジャンプを返った。



日本選手権初タイトルを手にした三浦（中央）＝日本陸上競技連盟提供

とが多かったからだ。予選はスタートでやや出遅れたが、1 組 2 着で決勝進出を決めた。三浦は「1 歩目は改善できていたが、左レーンを走る選手が目に入り、上半身に前に突っ込んでしまったと振り返る。約 4 時間後の決勝まで

は、SNS（ネット）交流サービ（S）で見た来国の男子短距離選手、ノア・ライルズのレース動画を繰り返し見ていた。「動画のライルズ選手は」スタートの動き出しが遅れたのに、その後の走りが良かった。そのイメージを体に覚え込ませたかったという。迎えた決勝では、「周りの選手を気にすることなく、スタートも問題なかった」という万全な走りで優勝を果たした。三浦は「スタートの 1 歩目を改善した走りができた。今年は国際大会で日本代表入りをすることを目標にしたい」と語った。

男子 60m 予選 2 組に登場した辰巳は 6 秒 91 で 7 着に終わり、決勝進出を逃した。（川上真生）

リードジャパンカップ優勝 森秋彩 4年連続6度目



決勝戦で課題に挑む森＝本人提供

スポーツクライミングのうち、到達した高さを競うリードジャパンカップが2月25、26日に松山下公園総合体育館(千葉県印西市)で開かれた。女子は森秋彩(体専2年)が4年連続6度目の優勝を果たした。

(久玉佳純Ⅱ比較文化学類3年)

クラスポイント
リードは高さ12メートル以上の壁をどこまで登れるかを競う。通常の大会では予選、準決勝、決勝の3ラウンドがあり、予選は2本、準決勝は各1本のコースにそれぞれ1回だけトライができる。制限時間は1本につき6分間となっている。森は準決勝までの3本のルートをただ1人完登し、1位で決勝に進んだ。上位8人が出場した決勝で森は、最後に登場。初手のホールド(突起物)の位置が高く、その後もホールド間の距離が長い難コースに挑んだ。

決勝の壁に向き合った森は、制限時間の40秒をいっばいに使って初手を考えた。先に登場した7人中2人が初手で失敗していた。「公平性の観点から他の選手の登りを見ることはできないが、競技時間や意で初手で落ちたことが分かった。自分も失敗するかもしれないと不安だった」と振り返る。

だが、足場を何度も確認して最初のホールドにしがみつく。全体の3分の2程を登ったところで残り2分を切ったが、一手一手確実に登り、残り25秒でそれまでのトップに追いついた。更に次の一手を確実につかんで優勝を決めた。

その後も完登を目指し、左上のホールドをつかもうと手を伸ばしたところで、惜しくも落下した。残り4手だった。「下見の段階ではそれほど難しく見えなかったが、想像以上に右手と右足が安定しなかった。

関東学生新人戦

池田 女子単 Bブロック準優勝

永渕・中村組男子複 Aブロック3位

バドミントン

【塩浜市民体育館(千葉県市川市)で川上真生Ⅱ社男子ダブルスで永渕雄大(体専3年)・中村舜(同3年)が優勝した。永渕・中村組は2月28日、塩浜市民体育館で)＝川上真生撮影



懸命にシャトルを追う池田(2月28日、塩浜市民体育館で)＝川上真生撮影

理学科3年 関東学生新人選手権が2月14日、3月1日に開かれ、Aブロックの男子ダブルスで永渕雄大(体専3年)・中村舜(同3年)が優勝した。永渕・中村組は2月28日、塩浜市民体育館で)＝川上真生撮影

年)ペアが3位に入った。Bブロックの女子シングルスでは、池田恵美(化学3年)が準優勝と健闘した。永渕・中村ペアは2月28日の準々決勝で法政大ペアに2-0で快勝。だが、3月1日の準決勝で日本体育大のペアに0-2で敗れた。

3月1日のBブロック女子シングルス決勝に臨んだ池田は、橋野光(青山学院大)と対戦。第1ゲームはコート奥まで低い軌道で

シャトルを返すドリフンクリアで崩され、17-21で落とした。第2ゲームは狙い通りのラリー戦に持ち込んだが、ショットのミスが失点につながって16-21で奪われ、0-2で敗れた。

池田は「学業が忙しく、大会に出場できる機会は少ない。勝ちたかった。優勝できず、少し残念だ。ショットの精度が課題だと感じた」と振り返った。

吹田真十監督(体育系・助教)は、「新人戦はシーズン序盤というところもあり、順位には着目していない。選手それぞれが目標や課題を意識しながら大会に臨んだ」と語った。

バスケット

男女ともに敗れる

バスケット

【つくばカピオ(つくば市竹園)で中谷美稀Ⅱ人文学類2年、川上真生Ⅱ社会学類2年、16面に関連写真】筑波大アスレチックデパートメント(AD)主催のホームゲーム、第3回「TSUKUBA LIVES」が3月22日に開催された。女子バスケットボール部が白鷲大に52-78で、男子バスケットボール部が東海大に48-67で敗れた。初めての学外開催で、女子運動部の出場も今回が初めて試合に臨んだ。白鷲大に

て、筑波大関係者や一般観客約500人が熱戦に声援を送った。

女子の試合は開始20秒、主将の田中万衣羽(体専4年)の先制点から始まった。その後は一進一退の攻防が続くも、第1クォーターは15-13とリードして終えた。第2クォーターは昨年の全日本大学選手権(インカレ)2位の白鷲大に逆転を許し、29-42で前半を折り返した。筑波大も相手の守備態勢が整う前に素早い攻撃を仕掛けるも、徐々に点差を広げられ、52-78で試合を終了した。

田中は「ホームゲームで、高いモチベーションを持って試合に臨めた。白鷲大に

スポーツ顔

バスケット



1年生で日本代表に
朝比奈あずさ(体専2年)

ボール選手権(現全国U15バスケットボール選手権)の神奈川県代表に選ばれた。個人として全国大会も経験した。高校は、全国高校総体(インターハイ)で25回と振り返る。

高校での練習は、周りのプテンを務めた。「チームをインターハイ優勝、集まった優秀な選手たちに刺激を受け、他選手への指導も自分事として受

になった」と語る。桜花学園高校ではキャプテンを務めた。「チームをインターハイ優勝、集まった優秀な選手たちに刺激を受け、他選手への指導も自分事として受

れ、筑波大にやって来た。昨年6月と8月には、国際大会「三井不動産カップ2022」に日本代表として出場。今までテレビで見ていた選手たちの実際のプレーに接し、レベルの違いを感じた。一方で、その経験を筑波大でのプレーにつなげたいと考えた。

初めてのインカレは4位という悔しい結果に終わった。これをバネに、在学中に筑波大を日本一に導く目標を掲げた。その表現に向け、「これからでも点が取れ、相手に合わせた守りができる選手になる」と、日々練習に励んでいる。こうした積み重ねが、「学生のためのオリンピック」と言われる世界ユニバーシアード大会出場や日本代表への定着につながるはずだ。(中谷美稀Ⅱ人文学類2年 写真も)

仏女子代表ら筑波大で合宿

海外勢4カ国63人集う



外国人選手と組手をする日本人選手ら(3月3日、筑波大柔道場)＝衣笠有紀撮影

柔道

パリ五輪柔道競技で日本の最大のライバルとなるフランス女子柔道代表チームが2月28日、3月4日まで、筑波大柔道場で強化合宿を行った。韓国、イスラエル、アゼルバイジャンの選手も参加し、筑波大柔道部員計30人や全日本柔道連盟の女子強化選手14人と稽古で汗を流した。

フランス代表は東京五輪女子63キログラム級のクラリス・アグベニエヌ選手など東京五輪のメダリスト5人を含む14人。韓国女子柔道代表チームとイスラエル、アゼルバイジャンのジュニアチームを合わせ、海外勢だけで4カ国計63人が集う国際合宿となった。

昨年12月に東京で国際大会「グランドスラム東京」が開かれた際に、フランスの監督が「技の技術レベルが高い日本で合宿したい」と全日本柔道女子代表チーム監督の増地克之教授(体育系)に話を持ち掛け、開催が実現した。

増地教授は「フランスの選手は一度握った手を離さないのが特徴だ。東京五輪でも苦戦した。映像だけでは分からない海外選手特有のやりとりにくさを、合宿を通して体感してほしい。日本側の強化選手は、パリ五輪後の活躍が期待される若手を集めた」と話した。

稽古は午前と午後の1日2回で、1回が2時間ほど。全体を三つのグループに分け、それぞれのグループの選手が別のグループの選手と立ち技や寝技を仕掛ける練習を繰り返した。

フランスのトルフ・ジュリア選手(25)は「日本選手のプレススタイルは情熱的で粘り強い。相手国への敬意が感じられた良い合宿だった」と振り返った。

岡田弘隆准教授(体育系)によれば、コロナ禍前は年間300日ほど、筑波大柔道場に海外選手が訪れていたという。「フランスチームとは、中村良三教授が全日本女子代表チームの監督を務めたバルセロナ五輪以来、約30年間で交流が続く。筑波大柔道部には海外選手を受け入れる土壌があり、今後も受け継いでほしい」と話した。

有瀬心里さん(体専3年)は「海外選手の格闘力や力加減の違いに戸惑ったが、粘り強く組み、自信を持って技をかけられるようになった」と合宿の手応えを語った。(川上真生、嵩元愛香)

「筑波大を日本一に導く」

国際女性デーで初イベント

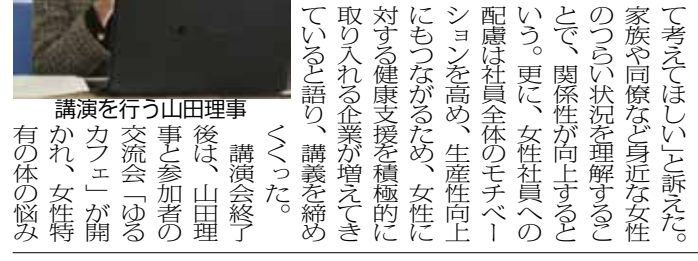
フェムテックをテーマに

女性特有の健康課題を技術で解決するフェムテックをテーマとした講演会が国際女性デーの3月8日、2B棟で開かれた。講師の山田奈美子・日本フェムテック協会代表理事は「フェムテックは女性がライフプランを描く上での一助になる」とし、国内外のフェムテック事情などを紹介。対面とオンラインを合わせて約40人の学生と教職員が参加した。（高元愛香、写真も）

「フェムテック」は英語で「Female（女性）」と「Technology（テクノロジー）」を合わせた造語で近年、注目を集めている。

山田理事は講演で、自身が3年前に卵巣に関する病気を患ったことに触れながら「女性が自身の体を知ることが大切だ」と話した。

また、男性に対しても女性の健康課題を自分事として考えてほしいと訴えた。



講演を行う山田理事。後には、山田理事と参加者の交流会「ゆるカフェ」が開かれ、女性特有の体の悩みについて意見交換が行われた。



「ゆるカフェ」で交流を楽しむ山田理事と講演会参加者たち（3月8日、2B棟で）

会場には、吸水ショーツや経血をためる月経カップなど6種のフェムテック製品が置かれた。ゆるカフェに参加した女性職員は「生理痛に悩み、低用量ピルの使用を考えたが、親に避妊目的かと言われた。講演を聞き、生活を楽にする商品を使うことは恥ずかしくないと考えた」と話した。

3月6〜17日には、筑波大の教員が選んだ「女性・ジェンダー」に関する52冊の本を紹介する企画展が中央図書館で行われた。

飯田順子准教授（人間系はフェイフック（現メタ）の元最高執行責任者（COO）、シェリル・サンドバグさんが書いた「リーニン・イン」を紹介。「二歩を踏み出すと人生が楽しくなる。前向きになれる本だ」とコメントを添えた。

筑波大で国際女性デーにちなむイベントが開かれるのは初めて。主催したヒューマンエンパワーメント推進局（BHE）の梅田恵教授は「大学が、誰もが安心して能力を発揮できる場になるよう、これからも啓発イベントを企画していきたい」と話した。



授業課題きっかけでモロッコに

皆さんは「開発」と聞くとどのようなイメージを持つでしょうか。きっと多くの方は、貧しさゆえに食糧や医療、教育アクセスの不足に苦しむ人々を助ける、といったイメージを持たれるので

ました。また、国全体を見れば中所得国に分類される北アフリカ諸国において、大きな経済的格差が存在していることもその課題を通じて知りました。そして私は、その原因と解決策を探りたい最中です。

私の通うアルリアハワイン大はアメリカの教育制度を採用しているため、英語で授業が行われています。そのため、モロッコ独自の学びというよりは世界基準の教育に重きを置いています。大学に來ている若者の多くは経済的に豊かで、高度な教育やキャリアなどを積極的に求めて海外を志向します。しかし、大学の外に目を向けると、生計を立てるための出稼ぎといった消極的な動機で海外に渡らざるを得ない人がいます。また、街中



イメージを持たれるのではないのでしょうか。しかし、チュニジアに限らず、北アフリカ全体においては、十分な教育を受けているにもかかわらず、職がなく生活に苦しむ若者が多いという課題を知り

と思い、北アフリカの経済について興味を持つようになりまし

北アフリカの中でモロッコを選んだ理由は、日系企業の進出数が多いため、日本との経済的結びつきが強く、また歴史

好に保つ仕事したい。国際経済や政治など多様な分野の研究者がいる筑波大で、まずは学びを深めたい」と今後の展望を語った。

ヒルニヤさんは来日するまで日本語に触れたことがなかった。日本語で十分な意思疎通ができず、もどかしい思いをしたこともあったが、今は理解できる日本語も増えた。

「安全な日本で学び続けるため、日本語の勉強を頑張りたい」と話す。「大学卒業後は、ウクライナで社会福祉団体を立ち上げるか、社会学者となり、ウクライナの再建に貢献したい」と力強く語った。

リサイクルリングプロジェクト

後輩に不用品を無償提供

卒業生などからまだ使える不用品を回収し、新入生や在学に無料で譲渡する「RECYCLING PROJECT」をスチューデントサポートセンターが2月に始めた。不用品の受け付けは3月末で締め切ったが、4月28日まで同センターのチューデント・コモンズで配布している（かなりの次第終）。

無料であることと所有権を放棄すること、そして汚れや破損がないことを回収条件にした。大型の家電や



回収された生活雑貨などが並んだ（3月9日、1A棟で）

家具は対象外にしたが、生活雑貨（食器カトラリー、鍋、フライパン、やかん、キッチンツールなど）や小さな棚、小型家電（電子レンジ、トースター、電気ケトル、炊飯器、ドライヤー、アイロンなど）など、幅広く受け付けた。

筑波大の構成員であれば誰でも回収品を受け取れるが、電化製品は一人一点に限る。

筑波大では例年4000人を超える留学生を迎えている。日本に来て、どこで生活必需品を買うのかも分からない留学生が、無料で必要なものの一部をそろえることもできる。学生交流課の糸井智香係長は、「情報交換や他の学生との関係を作る場にもしたい」と話す。（久玉佳純 写真も）

露ウクライナ侵攻1年

避難学生ら「こんなに長く続くとは」



取材に応じるボグダナさん（左）とジビツカさん（3月8日、本紙編集室で）＝加藤緑撮影

ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、今年2月24日で丸1年が過ぎた。筑波大に避難してきたウクライナ人学生は長期化する戦争をどう見ているのか。現在の心境や母国にいる家族の様子について学生3人に聞いた。（車谷郁美 加藤緑）

昨年8月10日に来日したア・ジビツカさんは来日前、人文学類のクリエイティブ・ボグダナさんとウイクトリ

取材はほとんど日本語でやり取りとなった。2人とも来日時と比べ故郷の状況は良くなっているが、母国に残る家族への心配は尽きない。

ボグダナさんの父は侵攻前に亡くなっており、キーウ近郊で母が1人で生活している。ほぼ毎日ビデオ電話などで連絡を取っているという。「現地で初めて爆発音を聞いた時、とても怖かったことを思い出し、母に無事でい

てほしいと、いつも願っている」と話した。

幼稚園教諭だったジビツカさんの母は侵攻後、軍服を作るウクライナ南部のニコポリにある工場で働き始めた。戦争で幼稚園が休園しているからだ。ニコポリではまた攻撃が続いているという。こんなに戦争が続くと思っていなかった。早く終わってほしい」と訴えている。

社会学類のマリア・ヒルニヤさんもウクライナの家族を心配している。ヒルニヤさんは昨年7月31日来日した。故郷のウクライナ西部の都市、リビウの状況は来日時よりも悪化したという。今年3月には実家近くにミサイルが打ち込まれ、死者が出た。ヒルニヤさんは「家族は無事だったが、本当に怖い。（ロシア

ボグダナさんは筑波大の大学院進学を目指したいという。これまでは日本語の書籍の翻訳家を目指していたが、戦争を機に、外交官になりたいと考えようになった。「世界の平和を守るために、各国の関係を良

筑波大とカルティエが共同研究

誰もが安心して所属できる居場所とは

誰もが安心して所属する居場所とは何か……。筑波大と「リシユモン ジャパン株式会社 カルティエ」(本社・東京都千代田区)は昨年4月、こんなテーマを掲げた共同研究プロジェクトを始めた。その一環で、2月20、21日には障害とジェンダーをテーマにしたワークショップが情報メディアユニオンで開かれた。筑波大生や同社の社員ら計約20人がケーススタディなどを通して意見交換した。

(高元愛香、写真も)

プロジェクト名は「I B A S H O - w h e r e w e b e l o n g」。大学生の今の居場所である「大学」と将来の居場所である「職場」に焦点を当て、「DE&I」(多様性、公平性、包摂性)の観点から「安心して所属することができる居場所」には何が求められるのかを探る。

ワークショップなどを積み重ね、3年間かけて「居場所」の評価尺度の開発や「居場所」の実現に向けた提案を行うことを目指す。ワークショップは「多文化共生」をテーマにした昨

年8月に続き2度目で、性的少数者や身体障害、発達障害の当事者も参加した。初日は「脳性麻痺を持ち、試験時間の延長などの合理的配慮を受けて大学生活を送る男子学生」が題材のケーススタディが行われた。

男子学生は、自分が受ける合理的配慮が友人に良く思われていないことに悩んでいたとの想定で、参加者は「どうすれば男子学生にとって大学が安心できる居場所になるかを議論した。議論は五つのグループに分かれて行われ、あるグ

ループは「男子学生の友人などのマジョリティ側が、自身が有利な立場にあるという特権に気付いていないことが問題点」とした。その解決策として「合理的配慮は男子学生が他の学生と同じベースラインに立つために必要なことを大学が



グループディスカッションを行うカルティエ社員と学生たち (2月21日、情報メディアユニオンで)

平砂浴場大幅値上げ

光熱費高騰で 1回300円に

平砂宿舎共用棟浴場(平砂浴場)の利用料金が3月に値上げされた。1回券は100円上がって300円に、1カ月定期券は1500円上がって4500円になった。回数券は3600円に据え置かれたが、21枚つづりから14枚つづりに減った。また、これまでの日曜日だけだった休業日に土曜・祝日も加わった。

近年まれに見る電気代やガス代など光熱費の急激で大幅な高騰が理由で、運営業者は今年1月、学生生活課に値上げを要望していた。

た。今回はそれを大幅に上回る値上げとなり、利用者が離れが懸念される。コロナ禍の影響で20年度の同浴場の利用者は延べ約1万8000人に落ち込んだ。21年度は同約2万7000人とコロナ禍前の水準に回復したが、同課の担当者は「コロナ禍の経営ダメージが残っており、慢性的な赤字が続いて

いる」と話す。同浴場の浴槽は男湯が二つ、女湯が一つ。経費削減のため、昨年12月5日から男湯の浴槽一つの運用が停止されていた。新入生の宿舍入居を受けて、4月から5月末までは運用を再開するが、その後の運用は、利用状況を踏まえて判断するという。(中谷美穂)

新歓祭本祭 対面実施

マスク着用は個人の判断に

新入生歓迎祭(新歓祭)リアと石の広場で昨年に続いた本祭が4月8日、第一エキ対面で開催される。新入生と台流する。

お目当ては蒸気機関車「C12形66号」が牽引する「SLもおか」。下館駅と茂木駅(栃木県茂木町茂木)を結ぶ真岡鉄道

生は所属学群によって午前と午後の部に分かれ、興味のある課外活動団体の展示を見たり、活動内容についてメンバーから話を聞いたることができる。教室での展示企画には約40団体、屋外ブースでの展示には約80団体に参加する。また、石の広場などの屋外特設ステージでは計36団体がダンスや軽音楽などのパフォーマンスを披露する予定だ。

3月10日に加藤和彦副学長(総務人事・情報環境担当)が通知した「当面のマスク着用の考え方について」に従い、マスクの着用は個人の判断に任せる。ただし、感染症対策として、手指の消毒や教室など屋内の換気は引き続き行う。

新歓祭推進委員会副委員長の高田部真仁さん(人文4年)は「新入生には自分合ったサークルを見つけ、活動を通して自ら問題を発見していく能力を身に付けてほしい」と話した。

新歓に関する情報は各団体のSNS(ネット交流サービス)や新歓Web(https://www.stb.tsukuba.ac.jp/shinkan-web/)で確認できる。(加藤緑)



蒸気機関車「C12形66号」の前でポーズを決める会員ら (3月21日、真岡鉄道下館駅で)

肌寒さが残る3月中旬の午前8時過ぎ。つくばセンターのバスターミナルから「旅と鉄道の会」の会長を務める細内素裕さん(比文2年)と多田和真さん(人文2年)が、路線バスに乗り込んだ。

筑波大生は東京に目が向きがちなが、つくば周辺にも見どころは多い」と、細内さんが企画した有志旅行の始まりだ。

最初、目的地はJR下館駅(茨城県筑西市乙)。路線バスを乗り継いで、同10時22分に到着した。東京に住む竹内真雄さん(社工4年)

個人は個人の判断に任せる。ただし、感染症対策として、手指の消毒や教室など屋内の換気は引き続き行う。

新歓祭推進委員会副委員長の高田部真仁さん(人文4年)は「新入生には自分合ったサークルを見つけ、活動を通して自ら問題を発見していく能力を身に付けてほしい」と話した。

新歓に関する情報は各団体のSNS(ネット交流サービス)や新歓Web(https://www.stb.tsukuba.ac.jp/shinkan-web/)で確認できる。(加藤緑)

筑波大生と地域をつなぐマルシェ

サイクルシックつくばで初開催

筑波大の学生団体「かぎぐるま」と自転車店「サイクルシックつくば」(つくば市桜)が共催するまちづくりイベント「マルシェ」が2月18日、同店で開かれた。筑波大生によるフリーマーケットや自転車の試乗会、筑波大写真部の作品展示など盛りだくさんの内容で、子供からお年寄りまで多くの地域住民がイベントを楽しんだ。

(高元愛香、写真も) 16面に関連写真も

イベント名の「マルシェ」には、風車や車輪のイメージと、多くの人が「来る」谷田部が提供したネギやニンジンなどの野菜がアレンジされた。規格外で出荷できなかったものを廃棄するのはもったいないと企画された。



地域住民に商品の説明をする沢田さん (2月18日、サイクルシックつくば駐車場で)

試乗した竹内優さん(情報4年)は「マルシェが桜地区を久しぶりに訪れるきっかけになった。フードロス対策にも協力できてうれしい」と話した。

フリーマーケットでは、筑波大生が制作したアクセサリやキーホルダー、食器などの品物が並んだ。3Dプリンターで製造した、人や動物の顔をデザインしたマグネットなどを出した。

品した沢田亮さん(芸専3年)は「地域住民の方々から作品の感想を直接聞けるので、創作意欲の向上につながる」と話した。

サイクルシック店内では、花畑や海などを撮影した筑波大写真部の作品13点が展示された。また、来場者がカードゲーム「プリッ」を楽しめるコーナーも設けられ、学生と地元住民らがテーブルを囲んだ。

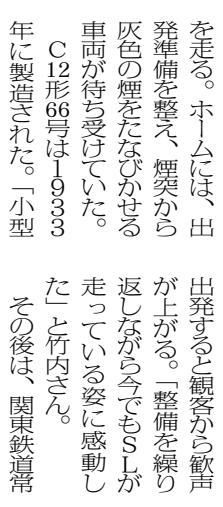
つくば市内在住の川田明枝さん(73)は「学生が運営しているからか、活気があっていい」と話した。

イベントを共催した「かぎぐるま」は地域住民と学生の交流促進を掲げる学生団体で、社会学類開設の「都市計画演習」の受講生らが2022年7月に結成した」と話した。

筑波大鉄研「旅と鉄道の会」

最初、目的地はJR下館駅(茨城県筑西市乙)。路線バスを乗り継いで、同10時22分に到着した。東京に住む竹内真雄さん(社工4年)

公共交通機関使い旅を満喫



蒸気機関車「C12形66号」の前でポーズを決める会員ら (3月21日、真岡鉄道下館駅で)

を走る。ホームには、出発すると観客から歓声が上がる。「整備を繰り返しながら今でもSLが走っている姿に感動した」と竹内さん。

その後は、関東鉄道常

生は所属学群によって午前と午後の部に分かれ、興味のある課外活動団体の展示を見たり、活動内容についてメンバーから話を聞いたることができる。教室での展示企画には約40団体、屋外ブースでの展示には約80団体に参加する。また、石の広場などの屋外特設ステージでは計36団体がダンスや軽音楽などのパフォーマンスを披露する予定だ。

3月10日に加藤和彦副学長(総務人事・情報環境担当)が通知した「当面のマスク着用の考え方について」に従い、マスクの着用は個人の判断に任せる。ただし、感染症対策として、手指の消毒や教室など屋内の換気は引き続き行う。

新歓祭推進委員会副委員長の高田部真仁さん(人文4年)は「新入生には自分合ったサークルを見つけ、活動を通して自ら問題を発見していく能力を身に付けてほしい」と話した。

新歓に関する情報は各団体のSNS(ネット交流サービス)や新歓Web(https://www.stb.tsukuba.ac.jp/shinkan-web/)で確認できる。(加藤緑)

「先輩から『旅の費(QOT)』を考えて行程を組むことを教わった。ゆとりを持って楽しめる旅行を企画していきたい」と細内さん。会員の好奇心は、どこまでも続へ(川上真生II社会学類2年写真も)

Who's Who?

地元・徳島で子供の居場所支援

川邊 笑 さん (教育4年)



居場所づくりに取り組む川邊さん = 本人提供

大学を昨年度休学して地元の徳島県牟岐町に戻り、過疎地域の子供たちの居場所づくりに取り組んできた。「誰もが悩みや生きづらさを抱えて生活している。でも、抱えられるしんどさには限度がある。ヨイショと置ける場所を作りたい」と語る。提供している居場所は「ゆあふれ」と「われもこう」の二つ。いずれも、地元のNPO法人の拠点を間借りするなどして、無

料で提供中だ。ゆあふれは週に1回、中高生が放課後に立ち寄って、お菓子を食べたり、雑談したり、勉強したりできるスペースだ。事前登録は不要で、毎回、5〜10人程度がやってくるという。われもこうは、不登校の児童や生徒向けの居場所で、週に1回、日中に開設される。事前登録で、18人が参加している。公認心理師の資格を持つ元教員

が常駐し、保護者の相談に乗ったり、学習支援をしたりしている。「家から出たがなかった子供が、われもこうには通う」などの声が、励みになっている。自身の体験が活動の原点だ。中学生時代は生徒会長に加え、バレー部と駅伝部のキャプテンを務めた。周囲からは優等生と見られたが、「苦手な分野で頑張れない自分」に悩む日々だった。そんな時、知り合いの大人が自殺した。周りからは大丈夫に見えるが、実は悩みを抱えている人が多いのではないかと考える契機になったという。筑波大入学後は、認定NPO法人「Learning for All」(事務局・東京都新宿区)の活動にイン턴として参加。つくば市を中心に、さまざまな事情を抱える子供たちの学習支援に取り組んだ。「不登校や貧困などの問題を抱える子供たちが多く、日本社会の生

「田舎の優しさ」で孤立をなくす
人知れず悩んだ過去が出発点

きにくさを痛感したと振り返る。それと同時に地域間格差も感じた。「牟岐町のような過疎地域にも、悩みを抱える子供たちがいるが、都市部とは違い、対応する居場所づくりを行政も民間もできていない」と思った。大学2年生の冬、そんな現状を変えようと、自身の長期休暇を兼ねて「ゆあふれ」を始めた。毎回5人ほどの中高生が来るようになった。だが、日常的な居場所が必要だと考え、思い切って休学。昨年6月から週1回開催に変更し、同9月から「われもこう」の運営も始めた。

ゆあふれのスタートに先立ち、町立牟岐中学校の過去5年間の卒業生にアンケートしたところ、半数が「固定された人間関係に生きづらさを感じた」と回答した。以来、「田舎には特有の生きづらさがあるが、濃密で温かい人間関係には優しさも

ある。良い面を生かしたい」と考えながら活動するようになった。実際、居場所づくりを始める中で、地域の人々からさまざまな支援を受けた。運営には大学生から地元のシニア世代まで約20人がボランティア参加し、子供たちの居場所は、多世代の交流の場にもなっている。今年4月に復学したが、取り組みを継続し、ボランティアベースの現在の活動を公的なものにしていきたいと考えている。

その手始めとして、地域のさまざまな人たちが集まって子供たちを支える地域食堂の開設を計画した。将来は、子供たちの居場所づくりを事業化し、全国の過疎地域に広げる夢を持つ。「今年は、大学生として自由に活動できる最後の1年。新たなチャレンジをしたい」と決意を新たにしている。

(衣笠有紀心理学科3年)

編集後記

(同)のように学生と地域住民、双方の交流の場を目指した取り組みもありました。温かな笑顔を作ろうと奮闘する人々を見て、居場所が試行錯誤して作り上げられるのだと痛感しました▼一方、「ハラスメント」がある場所では、人が能力を発揮することはできません(1面)。編集長という立場上、自分の言動が誰かを傷つけないよう、細心の注意を払わなければと肝に銘じました▼形は違えども、居心地の良い場所づくりに目を指す人々から多くの示唆が得られました。本紙も、誰かにとつての居場所になればと思います。(編集長・高元愛香心理学科3年)

■筑波大学新聞編集委員会
▽前委員長 逸村裕(図書館情報メディア系・元教授) 図書館情報学
▽前委員長 清水諭(体育系・教授) スポーツ社会学
▽委員 秋山肇(人文社会学・助教) 憲法・平和研究
▽委員 水環境生(生命環境系・教授) 水環境生態学
▽委員 関瑞穂(前学生部長)

■筑波大学新聞編集部
▽編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授) サイエンスコミュニケーション
▽編集長 高元愛香(心理学科3年) 副編集長 川上真生(社会学類2年) 加藤緑(生物学類2年) ほか編集部員9人

令和4年度卒業式



学位記を永田学長から受け取る卒業生(3月24日、大学会館で) = 加藤緑撮影

2面へ

卒業・修了制作展



山形彩月さんの茗溪会賞受賞作品「生彩」(2月12日、つくば美術館で) = 嵩元愛香撮影

5面へ

「TSUKUBA LIVE!」バスケット



大勢の観客を前に果敢に攻め込む副島(右)(3月22日、つくばカピオで) = 川上真生撮影

13面へ

くるくる桜マルシェ



店内でカードゲームを楽しむ学生と地域住民(2月18日、サイクルシックつくばで) = 嵩元愛香撮影

15面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

次号は
6月12日(月)

発行予定です

発行所 筑波大学
印刷 リリフコム